

## 令和2年度第2回水と緑の森づくり会議（R3.3.9） 意見概要

- 遠藤委員（部門：森林インストラクター）
- 小倉委員（部門：地域活動）
- 住久委員（部門：教育）
- 豊田委員（部門：森林経営）
- 野口委員（部門：木材利用）
- 村尾委員（部門：担い手）

### （1） 令和2年度水と緑の森づくり事業の実績見込みについて

- ・令和2年度新規事業である「高校生に向けた林業就業講座事業」の反響が大きかったのはよかった。お笑いコンビ「かまいたち」を起用した林業PRの取組はこれまで林業にあまり関心なかった人も関心を向けるきっかけになったと思う。こういった取り組みは大切。

### （2） 令和2年度県民参加の森づくり事業の取組内容に関する意見交換について

- ・植栽樹種に「山桜」を選択している団体が数件あり、景観整備に重きが置かれたものと思うが、「森づくり」という観点から適地適木についてもしっかり検討されたい。
- ・作業のほとんどを委託に出している申請については、多くの県民に森づくりの活動等へ参加してもらえるよう、自分たちでできる取組をなるべく組み込むなど方法を工夫されたい。
- ・子供が参加する活動は、学校のカリキュラムに組み込むことにより深い学習になる。また、植栽活動のみといった単発的な活動ではなく、前後の活動も含めて連続的に学習し、それぞれの活動の意義を理解できるような取組の提案を期待したい。
- ・森林整備、植栽等を実施されている団体については、整備後の維持管理をしっかりやっていただきたい。木を利用する取組では、施設整備したあとの活用状況の整理や効果検証を実施しするなどして有効に活用されたい。
- ・「木を伐る」「木を利用する」といった取組に加えて、「木材を加工する」という分野を学習する提案を期待したい。木工教室等を開催する際に製材所等で木の加工を見学したうえで利用すること深い学習につながる。
- ・様々な視点の提案があり、「森林・林業・木の利用」に関心を持つきっかけになることに期待したい。
- ・本事業での活動が参加者の記憶に残り、整備された森林や施設が多くの住民に愛され、憩いの場所となるような提案となるよう引き続きお願いしたい。